

合計 2,801 kgのお米を支援が必要な福祉施設・団体へ提供

— 食品ロスの削減、生活困窮者支援の一環としてフードバンクに取り組んでいきます —

コープみらい(本部：埼玉県さいたま市、理事長：田井 修司、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都)は、食品ロスの削減¹、生活困窮者支援の一環として、品質に問題がないものの、パッケージの破損等の理由により商品として販売できない商品を福祉施設や団体に無償で提供するフードバンクに取り組み、2013年10月から2014年3月までの6ヶ月間に合計2,801kgのお米を提供しました。

フードバンクは、要望が高いお米の支援を中心に取り組み、セカンドハーベスト・ジャパン²(本部：東京都台東区、理事長：マクジルトン・チャールズ)を通じて福祉施設や団体へお米を提供しました。

コープみらいでは、「むだをなくす(資源の有効利用)」「もったいない」を合言葉に、有効利用されていない近海魚を使った商品や規格外(サイズ・キズ・加工端材など)の農産物を活用した商品の開発・販売³を進めています。今後もフードバンクとともに資源の有効利用に積極的に取り組んでまいります。

- 1 本来食べられるにも関わらず破棄されている食品廃棄物のこと。日本で出される食品廃棄物は1年間に約1700万トン。このうち、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」は、年間約500~800万トンと推計されています。(平成22年度農林水産省推計)
- 2 「Food For All People」を掲げ日本で初めてフードバンク活動を始めたNPO法人。「セカンドハーベスト・ジャパン」の名称は“すでに収穫された畑から二度目の収穫をする”という意味に由来します。
- 3 産地の農産物をむだにしない「産地支援野菜セット」(インターネット限定)、青果集品センターの残品を有効活用した「もったいないセット」(インターネット限定)、店舗では「ハネッコ」というネーミングで販売しています。

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理 事 長】田井 修司(たい しゅうじ)

【組合員数】302万人(2014年3月20日現在)

【総事業高】3,596億円(2012年度の旧ちばコープ、旧さいたまコープ、旧コープとうきょうの合計)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>